

平成21年度 12月分NGO相談員対応結果

●今月の照会・相談対応全体に対する所感等(注:具体的に記載して下さい。)

12月は、下記にも記したように、北海道・東北の連携について多くの相談があがってきた。12/17-19とJICA札幌、東北との協力の下で、函館でマルチアクターサミットを40名ほどで行った。プログラムを、当団体で組み立てをし、連携について議論を深めた。その中で、NGO相談員についても紹介をし、連携について様々な質問が上げられた。特に首都圏から離れるという短所を補うような北海道・東北だからできること、魅力についても大いに議論された。広域連携という点では非常に面白い試みと思われる。また、依然として就職難からのNPO・NGO業界への就職の関心が高い点、学校現場でも、その状況に呼応するようにNPO・NGOの情報が欲しいと考えて、イベントや講師依頼にも対応しているように感じられる。そういう意味でも、NGO相談員の役割は高まっており、今後も更に活発に相談業務にあたってゆきたいと強く感じられた。

●今月貴団体が対応した照会・相談のうち、特筆すべき照会・相談事項を3件記載下さい(3件以上ある場合、追加して記載下さい。)

1	学生の就職相談について
相談内容	社会起業家、NPO・NGO業界も含めての就職を考えているがどのようにしたらいいか
対応内容	経済社会とは別にやりがいを求める傾向が高まっている。NPO・NGOはまだ、雇用としての条件が整っていないところも多く、それでもやりきれだけの熱意と忍耐力を持つこと。そして、専門性をきちんと持つことについて話をした。いずれにしても、将来に関わることなので大学とも相談して、方向を決めてゆくようにアドバイスした。
特筆した理由	①北海道・東北連携の新しい試みが興味深いものだったので ②学生本人だけではなく、親からの相談も増えている傾向

2	学校での国際交流・協力講座について
相談内容	教員向けの講座を実施する上で、国際協力の話をできる人を紹介して欲しい。または講座をやってほしい。
対応内容	NGO相談員としての立場でできることや、JICA国際協力推進員の派遣、あるいは北海道の開発教育協会からの派遣などについてリストアップして話をした。また、本州からも呼ぶということであれば、必要に応じてアドバイスする旨について話をした。
特筆した理由	①学校にはまだまだNPO・NGOとのつながりが薄く、情報が少ないように思われたため ②教育の現場でも多様な社会に対応しようとする 意気込みが感じられたため

3	NPO・NGOの連携について
相談内容	北海道・東北の連携を高めることによって、リソースパーソンの共有化や、連携事業、パワーアップにつながることはできないでしょうか
対応内容	まずは、北海道、東北の状況をお互いに知ること、日本の中で特徴的な自分たちの地域を知ることになる。その上で、国際協力をどのように進めてゆくかを考えることについて話した。また、具体的なネットワークとして、メーリングリスト、あるいは定期的な集まりを持つなど方法についてもアドバイスをした。
特筆した理由	①会議の進行役のみならず、組織を動かす意欲のある人が多いため ②連携の方法や、後押しをすることでそれぞれの団体がパワーアップできると感じたため